

令和元年度上半期 保険診療委員会活動報告

委員長：今泉益栄、副委員長：田内久道

委員：小川千登世、小川 淳、加藤剛二、伊勢一哉、中山秀樹、後藤裕明

1. 診療保険関連事項

1. 免疫遺伝子再構成を利用した定量 PCR 法による微小残存腫瘍検査 (PCR-MRD)
 - (1) 2019 年度 PCR-MRD 検査施設の学会新規認定 (2019 年 2 月 1 日)
株式会社ビー・エム・エル BML 総合研究所
エスアールエル遺伝子・染色体解析センター
 - (2) 2019 年度の PCR-MRD 検査施設の学会認定更新
愛知医科大学病院、独立行政法人国立病院機構名古屋医療センター
 - (3) 厚生労働省への学会要望
「骨髄微小残存病変量測定の保険適用検査が継続できる体制」
2. 2020 年度診療保険改訂に向けた内保連要望
 - (1) FDG-PET 検査の DPC 包括範囲からの除外 (当学会、日本核医学学会)
 - (2) 遺伝学的検査拡大 (難病等) (日本人類遺伝学会、内保連小児関連委員会)
 - (3) 特定薬剤治療管理料対象薬としてブスルファン注射薬の追加 (日本造血細胞移植学会、当学会)
 - (4) 遺伝性腫瘍の遺伝学的検査 (日本人類遺伝学会、内保連小児関連委員会)
 - (5) がん遺伝子パネル検査の DPC における算定取り扱いの要望書 (当学会要望書)

2. 「医療上必要性が高い未承認薬・適応外薬検討会議」対応と公知申請

1. テモゾロミドの再発又は難治性のユーイング肉腫への適応拡大：JCCG 参加施設への実態調査を踏まえて公知申請し、2019 年 2 月適応拡大が承認。
2. 小児造血細胞移植患者における静注用ブスルファンの 1 日 1 回法：JCCG 施設二次調査の使用実態 (6 施設 35 例) を解析し、公知申請の準備。
3. 再発・難治性急性骨髄性白血病に対する FLAG 療法の使用実態調査：JCCG 施設二次調査を実施し、公知申請の準備。
4. 神経芽腫に対するイソトレチノイン (isotretinoin, 13-cis-retinoic acid)：初回申請は要望区分の違いで公知申請の対象外と判定されたため、改めて「未承認薬速実用化スキーム対象品目」として再申請。
5. 小児 ITP に対するリツキシマブ、エルトロンボパグ、ロミプロシチム：成人 ITP に保険適応がある 3 薬剤に関して、当学会として血小板委員会から公知申請。

3. その他

1. 厚生労働省要望

- ・ NUDT15 遺伝子多型検査試薬の早期承認および保険適用
 - ・ ブリナツモマブ製剤の携帯型精密輸液ポンプ適応
2. 小児医薬品開発ネットワーク事業（日本小児科学会指導の AMED「臨床研究・治験推進研究事業」）参加（継続）
- ・ 課題：「小児領域における新薬開発促進のための医薬品選定などの研究」
 - ・ 検討薬剤：難治性 AML に対する分子標的療法薬剤の治験

以上